

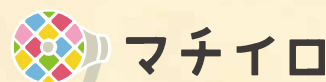


第14回 全日本少年春季軟式野球大会 広島県決勝大会
5校連合チーム: 君田中・布野中・三次中・三良坂中・甲奴中

令和4年9月定例会終わる

- ▶ 令和4年第2回臨時会 …………… 2
- ▶ こんなことが決まりました …… 3
- ▶ 決算審査 …………… 5
- ▶ 委員会審査 …………… 6
- ▶ 市政を問う（一般質問） ……… 8

三次市議会のホームページもご覧ください。
<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

🔍 検索



令和4年 第2回臨時会

第2回臨時会を8月5日(金)に開催し、次のことが決まりました。

令和4年度 一般会計予算の補正(第5号)

補正額 3億4,255万円追加

総額 392億3,165万6千円

■使い道

- ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 2億 6,530万 8千円
- ・原油価格・物価高騰対応生活応援給付事業 2億 5,924万 8千円
- ・学校給食食材費支援事業 6,060万円
- 現年災害単独土木復旧事業 4,000万円
- 現年災害公共土木復旧事業 3,000万円
- 海外公式訪問団派遣事業 724万 2千円

◆は新型コロナウイルス感染症対応分

補正予算の概要は
こちら →
8月補正予算を
ご覧ください。



議案の内容は
こちら →



議員研修会を実施しました



三次市議会では、8月30日に議員研修会を開催しました。

講師に、広島法務局三次支局の原田支局長様をお迎えし、「人権問題について」と題して講演を行っていただきました。

パワハラ、セクハラ、マタニティーハラスメントなどの「嫌がらせ」やあらゆる差別と偏見は、多様な層の住民が議会に参画する大きな支障となります。議会において多様な意見を反映させていくために、全議員で人権に対する意識の共有を図りました。

また、講演の後には、政治分野におけるハラスメント防止教材動画を視聴し、議員間でのハラスメントや有権者からのハラスメントについての理解を深めました。

教材動画解説より抜粋

- 妊娠・出産等に関する特定の価値観の押し付け等の言動は、固定的な性別役割分担意識に基づいたものであり、性別を理由とする差別に当たり得ます。
- 周りのセクハラ行為を見過ごすことは、それ自体ハラスメントになるとともに、ハラスメントの温床をつくることにつながりかねません。
- 候補者と有権者という関係を背景に、本人の意に反して電話番号などの個人情報を執拗に聞く行為や、個人の人格や尊厳を侵害する暴言といった行為はパワハラに当たり得ます。
- 昼夜を問わない執拗な電話や、議員としての評価をおとしめる事実に基づかない悪評の流布は、パワハラに当たり得ます。



こんなことが決まりました

条例の一部改正

- 三次市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市文化センター設置及び管理条例及び三次市立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市保育所設置条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市国民健康保険診療所設置及び管理条例及び三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

その他の議案・報告

- 専決処分報告について(訴えの提起について・2件) **全員一致**
- 工事請負契約の一部変更について **全員一致**
- 工事請負契約の締結について **全員一致**
- 動産の買入れの契約について(2件) **全員一致**
- 広島県水道広域連合企業団の設立について **賛成多数**
- 人権擁護委員の候補者の推薦について(5件) **全員一致**
- 旧JRR三江線伊賀和志区間の鉄道資産を活用したトロック運行実証実験の実現協力について **全員一致で採択**



陳情

- 田幸保育所での「3歳未満児保育」のさらなる充実を求めることについて **全員一致で採択**

意見書

- 安倍晋三元内閣総理大臣の国葬の中止を求める意見書 **賛成少数で否決**
- 少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げに係る意見書 **全員一致**

PICK UP!

●三次市国民健康保険診療所設置及び管理条例及び三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

安心して子育てできる医療環境整備のため、公設の「三次市国民健康保険みよしこども診療所」を三次市福祉保健センター内に来年5月に開設予定です。



9月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区 分	会 派	ともえ		清友会			明日への風			真正会			会派 未来		公明党	日本共産党										
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤	
議案第92号 広島県水道広域連合企業団の設立について	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○		欠席	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
発議第6号 安倍晋三元内閣総理大臣の国葬の中止を求める意見書	否決 (賛成少数)	欠席	×	×	×	×	○	○	議長	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○

● 発議第6号に対して討論がありました

安倍晋三元内閣総理大臣の国葬の中止を
求める意見書

反
対



藤井議員

国民全体で賛否が分かれていることは承知を
している。これが政争の具の様相となっている
のも大変残念であるが、地方議会の議員として、
この国葬が市民の公益を害しているとは考えら
れない。すでに閣議決定がなされ、申問外交等
も行われるという観点から、原則取り扱うもの
ではなく、三次市議会の総意として提出するべ
きではないと考える。

賛
成



伊藤議員

国葬の法的な根拠はありません。憲法に
保障された内心の自由を侵すことになり、
国民一人一人の弔意を強制することにも繋
がる。究明されなければならない問題もた
くさん残っている中で、これが果たして国
葬に値するのかがどうか疑問に思つた。まさに
日本の民主主義にとって大問題の国葬にな
るのではないだろうか。

● 議案第72号に対して討論がありました

広島県水道広域連合企業団の設立について

反
対



伊藤議員

広島市、呉市、福山市など、人口の
多い自治体は参加していない中で、果
たして事業が成り立つのか。水道料金
の値上げにつながるのではないか。広域連合になれば住民の声は届か
なくなり、議会の関与も困難になつて
くる。自治体の技術者はいなくなり、
自治体としての監視能力は低下するこ
とになっていく。広域連合企業団の次
は、民営化に繋がっていくのではない
か。日本は地理的条件から良質な水源
が各地に存在している。自治体は責任
を持って、地方公営企業として、安心
安全な水を市民に提供していかなければ
ならない。

賛
成



新家議員

水道事業会計の赤字体質は恒常化している。一
般会計からの基準外繰入があり、脆弱な一般会計
に負担をかけ続けることは、市道改修や自治活動
等の本場に小さな市民の要望に、ますます応えら
れない財政運営となる。10年間は現行通りの単独
経営となるが、この間、国の交付金を合理化投資
に活用し、浄水場の統廃合や、配管の整備改修を
行うべきである。将来にわたり、人口減少等によ
る料金収入の減、施設や配管の老朽化に伴う更新
費用や減価償却費の増等によるコストアップで、
経営状況は極めて厳しい。企業団参画によるス
ケールメリットと合理化の推進により、公営企業
体として独立採算制を堅持し、持続可能な安心安
全な水の供給と、一般会計の負担軽減につなげる
べきである。

令和4年度 一般会計予算の補正(第6号)

補正額 10億2,573万5千円追加

総額 402億5,739万1千円

■ 主な使い道

- ・ 道路橋梁維持管理 1億6,400万円
- ・ 道路橋梁維持管理(除雪対策) 1億5,000万円
- ・ 過年度国庫支出金等精算返納金 1億4,457万円
- ・ 光熱水費、指定管理料、補助金(水道事業会計)(電気料金) 1億2,348万円

◆ 予防接種経費(新型コロナウイルス感染症対応分)

- 1億2,129万4千円
- ・ 学校給食調理場整備事業 1億97万6千円
- ・ 診療所特別会計繰出金 5,452万5千円
- ・ 産地生産基盤パワーアップ事業 2,659万9千円
- ・ 保育所等整備交付金事業 2,433万9千円
- ・ みよし運動公園陸上競技場改修事業 1,591万5千円
- ・ 医師確保・開業支援事業 ▲2,000万円
ほか

- 《継続費》 変更 1件 学校給食調理場整備事業
- 《繰越明許費》 追加 5件 ケーブルテレビ光回線終端装置調
達事業ほか
- 《債務負担行為》 追加 2件 第3次三次市総合計画策定支援業
務ほか
- 《地方債》 変更 10件 過疎地域持続的発展事業ほか

【診療所特別会計】	6,993万円
【介護保険特別会計】	1億4,553万6千円
【後期高齢者医療特別会計】	1,397万2千円

【病院事業会計】	
収益的収入	3億778万5千円
収益的支出	2億9,978万7千円

【水道事業会計】	
収益的収入	875万2千円
収益的支出	3,405万3千円

(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)

(▲印は減額)

補正予算の概要はこちら
9月補正予算をご覧ください



決算審査

令和3年度決算を認定

一般会計・特別会計など9会計を審査

〔付託議案〕

議案第75号「令和3年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」

ほか8議案

〔審査結果〕

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定

予算決算常任委員長報告

決算認定に対する指摘及び意見

総務分科会からは、みよし暮らし推進事業などについて、令和3年度から、移住、定住促進に係る補助金の見直しが行われているが、その効果について、以前の支援策と費用対効果も含め、検証する必要があるのではないか。「空き家」耕作放棄地「後継者不足」など、本市の課題を逆手に取った農を中心としたライフスタイルの提案、本市の伝統工芸・文化の継承も含んだ地域資源・資産の活用など一部のターゲットを絞った支援メニューの構築、荒れた山や耕作されていない農地といった、マイナスイメージと思える資産を空き家バンク制度のよう

に、全国の興味ある方に紹介する窓口の創設など、対象者にピンポイントで伝える新たな企画立案を期待するとの意見が報告された。

教育民生分科会からは、三次版学校ICT活用事業について、教師の習熟度の向上、平準化に向けた対応を求める意見や、ICT支援員と教育委員会との連携をより強化することで、更に効果的なICTの活用が図られ、子どもに力をつけていくことが期待できるのではないかと、いう意見が報告された。

全体会での自由討議では、教師の習熟度を上げることが目的ではなく、教育効果に着目したICTの活用が大切であるとの意見、今後は機器の修繕や更新等経費が増大することが見込まれるため、よ

り効率的な運用と経費の低減が必要であるとの意見、ICTのコロナ禍にあっての活用、休んでいる子ども、支援が必要な子どもに対する運用等についての整理が必要であるとの意見が出された。

今後は更に事業効果や課題の検証を進め、ICT活用の今後の事業展開に繋がられることを期待するものである。

産業建設分科会からは、農地等保全事業有害鳥獣対策については、有害鳥獣被害専門の部署を立ち上げるなど、前向きな駆除や処理の体制づくりが必要ではないかとの意見（仮称）みよしアグリパーク整備事業については、今後の事業スケジュールの明確化を求める意見が報告された。



予算決算常任委員長報告の様子

全体会での自由討議では、有害鳥獣対策は、バッファゾーンの設定等森林整備についての認識が、根本的な対策として必要であるとの意見が出された。

被害の実態は切実で、有害鳥獣対策には、即効性、実効性が求められること

各分科会の自由討議テーマ

■総務分科会

○みよし暮らし推進事業

○総務一般管理経費

職員が心と体の健康を保ち、仕事にやりがいがある、風通しがよく、明るい職場づくりが何よりも肝要である。

今後も、業務改善を重ねるなど、引き続き取組を強化してもらいたいとする意見があった。

■教育民生分科会

○三次版学校ICT活用事業

■産業建設分科会

○農地等保全事業（有害鳥獣対策）

○（仮称）みよしアグリパーク整備事業

から、あらゆる施策について積極的な事業展開が必要であると思われる。

また、（仮称）アグリパーク整備事業は、アグリパーク構想全体について、見直しの内容を含め、説明、周知を求めるものである。

次に、議案第84号「令和4年度三次市一般会計補正予算（第6号）（案）」については、みよし運動公園陸上競技場改修事業は、大会の誘致等積極的な活用が図られるよう、根本的な改修についても検討されたいとの意見があった。

※バッファゾーン：人と野生動物とを隔てる帯状の区域

● 各会計の決算状況

(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		41,934,494,229	40,235,375,428	1,699,118,801
国民健康保険特別会計		5,181,784,754	5,113,234,942	68,549,812
診療所特別会計		192,493,508	177,897,807	14,595,701
介護保険特別会計		6,954,727,861	6,809,192,107	145,535,754
後期高齢者医療特別会計		852,142,358	838,168,483	13,973,875
土地取得特別会計		4,814,005	4,814,005	0
病院事業会計	収益的収支	9,996,282,203	9,192,424,484	803,857,719
	資本的収支	826,570,000	2,343,191,082	
水道事業会計	収益的収支	1,778,855,325	1,742,595,162	36,260,163
	資本的収支	415,262,430	1,042,593,148	
下水道事業会計	収益的収支	2,186,488,394	2,150,461,999	36,026,395
	資本的収支	1,490,915,200	2,019,370,939	

令和3年度の決算内容
についてはこちら →



委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、9月8日～12日に各委員会を開催しました。

産業建設常任委員会 9月8日開催

〔付託議案〕

議案第70号 「三次市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例(案)」ほか2議案

〔審査結果〕

議案第92号賛成多数をもって原案のとおり可決

議案第92号以外いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



三良坂産業団地(三良坂町田利)

〔議案に対する指摘及び意見〕

議案第92号は、なぜ三次市が企業団に参画するのか市民に対してしっかりと行政から情報発信をし、誰もが安心できる形で水道事業が運営されるよう、今後一層努められたい。

総務常任委員会 9月8日・9日開催

〔付託議案等〕

議案第63号 「三次市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

請願第1号 「旧JR三江線伊賀和志区間の鉄道資産を活用したトロッコ運行実証実験の実現協力について」

〔審査結果〕

議案 全員一致をもって原案のとおり可決

請願 全員一致をもって原案のとおり採択

〔請願に対する意見〕

請願第1号 「旧JR三江線伊賀和志区間の鉄道資産を活用したトロッコ運行実証実験の実現協力について」は、審査の結果、願意妥当であり採択してよいものと決しました。請願採択に伴う主な意見については次のとおりです。

「安全性の確保」については、JR西日本から市に提出された資料によれば、現行では該当区間にある橋梁、トンネルなど既存構造物の安全対策は、三次市とJR西日本間での使用貸借契約締結によって、JR側で実施すると示されており、この課題は大きく改善されているものと捉える。

「維持管理」については、今後の市の財政にも幾らかの負担と成りうるのではないかと市の懸念も伝わる。日常の維持管理として、レール目視などによる点検や草刈り、ゴミ処分などは、NPO法人伊賀和志江の川鐵道が責任を持って行うとする一方、懸念されている市の財政負担も、この契約を締結することで貸借期間を区切って無償で利用できることになり、以前の資産譲渡が前提とされていたものと条件が全く違い、現状で考えられる負担はないものと想定される。

邑南町で伊賀和志江間の鉄道資産も一括して借用されることが望ましいとされている点については、同提言書に、地域活性化・観光振興等に係る利活用について「経済波及効果や持続性が見込まれるものは、利活用に係る具体的な検討を行うこと」とある。また、三次市観光戦略にも滞在時間の延伸、宿泊需要の拡大として「ストーリー性を持った広域周遊の観光プロダクトの開発」に、「特別のテーマに興味を持つ客層向けには、県域を越える地域で連携した商品造成を進めます」とある。昨年4月に参画した広島広域都市圏域が掲げる「第2期広島広域都市圏発展ビジョン」の観光振興事業にも「個々の地域資源の魅力を相乗的に高めることにより、圏域全体の誘客を促進することができる」と市町連携の効果を期待されている。

以前、トロッコ乗車体験イベントに参加した委員からも「本市の自然の素晴らしさを改めて感じる事ができた」「参加されていた親子の笑顔が忘れられない」といった意見もあり、この鉄道資



NPO 法人江の川鐵道トロッコ現地確認

産を活用したトロッコ運行実証実験は、請願の趣旨にある県域を越えた観光商品づくりや作木町域の活性化に資する事業となる可能性を探るものである。

一方、多くの委員から運行実証実験の実現に向けては、まだ多くのハードルがあるとの指摘もあった。

市が懸念している日常の維持管理に係る労力や万が一の場合の責任の明確化、また、将来の旧伊賀和志駅をトロッコ発着のターミナルとする計画に伴う駐車場やトイレ整備などに市の財政負担が発生するか否か、使用貸借契約終了後、どのような事業展開を目指すのかなど、不透明な部分も多く残っていること。

請願の趣旨とされているトロッコ運行実証実験が邑南町、JR西日本、三次市の三者間のプロジェクトとして実現

されたいとされているが、この三者間の協議は現状、進められておらず、本事業に対する温度差が感じられること。

そして、重要なのは地元住民や作木町自治連合会との相互理解のうえ、一体的な取組とならなければならぬことである。

今回、請願提出に関わる皆さんの気持

教育民生常任委員会

〔付託議案等〕

議案第66号 「三次市文化センター設置及び管理条例及び三次市立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）ほか6議案

陳情第3号 「田幸保育所での「3歳未満児保育」のさらなる充実を求めることについて」

〔審査結果〕

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

陳情 全員一致をもって採択

〔所管事務調査〕

・ 新学校給食調理場の進捗状況について

〔議案に対する指摘及び意見〕

議案第68号は、図書館や生涯学習センター等既存施設の利用者が混乱することのない運用を検討されたい。

議案第90号及び議案第91号は、安全・安心な給食開始に向けて着実に準備を進められたい。

陳情第3号「田幸保育所での「3歳未満児保育」のさらなる充実を求める

ちは、委員には熱く伝わっている。委員会での指摘に対し、関係機関全体で十分な協議を行い、いずれもが理解したうえで、事業展開されることを願うものである。

ことについては、審査の結果、願意妥当と認め、全員一致をもって採択してよいものと決した。

9月12日開催



「三次市国民健康保険みよしこども診療所」が福祉保健センター3Fに開設予定

各委員長報告の全文はこちら



市政を問う

令和4年9月定例会 一般質問



- 1 鈴木深由希 (真正会)
- 2 大森 俊和 (会派 未来)
- 3 新田 真一 (会派 未来)
- 4 保実 治 (清友会)
- 5 重信 好範 (清友会)
- 6 宍戸 稔 (清友会)
- 7 中原 秀樹 (公明党)
- 8 黒木 靖治 (公明党)
- 9 弓掛 元 (ともえ)
- 10 月橋 寿文 (ともえ)
- 11 新家 良和 (ともえ)
- 12 掛田 勝彦 (明日への風)
- 13 徳岡 真紀 (明日への風)
- 14 藤岡 一弘 (明日への風)

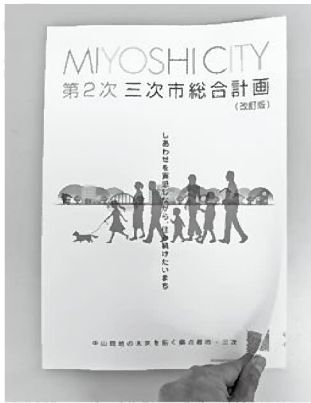
9月定例会では、14人が市政をただしました。質問と答弁の一部を紹介します。
また、ホームページでは**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています。**
議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

一般質問一覧



第2次三次市総合計画

協働のまちづくりを住民自治組織が重要な役割を担い、地域づくりは住民主体とする市の考えと市民の意識に隔たりがある。住民自治組織の目的、あり方を見直すべきと考える。災害発生時に適切に機能するには、自主防災組織と住民自治組織の分離が求められており、それには行政機関の横断的体制整備が必要と考えるが。

質問1
住民自治組織と自主防災組織について行政と市民との意識がい離を問う



鈴木深由希

真正会



脳神経内科については、医師数が少ない診療科のため、開設に至っていない。引き続き、地域の中核病院として、広島大学や広島県などと開設に向けて協議を行い、地域の皆さんに必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図っていく。

答弁2
診療体制の充実を図っていく

片岡市民病院部事務部長

特定疾患認定パーキンソン病は高齢者の発症率が高い。高齢の患者にとつて遠距離の通院は辛く、市立三次中央病院に脳神経内科新設のために積極的な医師確保が必要ではないか。

質問2
新病院建設で脳神経内科の新設検討を求む

住民自治組織と自主防災組織は共通する関係者も多いため、地域振興部と危機管理監との間では日頃から情報共有をして、連携を取って業務を行っている。また、災害が発生、発生する恐れがある場合には、災害対策本部において部署間の連携・調整を行っている。

答弁1
部署間の連携調整をしっかりと行っていく

山田危機管理監

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



質問1
新型コロナウイルス感染症対策は

全国的には40万を超える感染者が出る中で、その感染率は世界1位となっている。三次市においても多い時には160名を超え、その後も驚異的な数を示している。その中であって三次市の考え方、今後の取組の方向性についての見解を伺う。

答弁1
基本的な感染防止対策等を続けて
いただきたい

立花福祉保健部長
市民の皆さまには改めて、会話の際のマスク着用、手指消毒や手洗いの励行等、基本的な感染防止対策を続けていただくよう、呼びかけを行うとともに、ワクチン接種にも引き続き取り組んでいく。

質問2
市の活性化をはかるには

今回の新型コロナウイルス感染症による経済対策を考え、市の様々なイベント等を再開してはどうか。三次市の活性化をめざした取組が求められていると思うが、何らかの対策を示すべきではないか。

答弁2
今後に向けて実行委員会の中で議論を重ねていく

中廣産業振興部長
中小事業者への影響に対しては、国・県の支援策のほか市独自の支援策を各部署で実施している。今後も国・県の支援策や経済情勢、関係団体等の意見も踏まえ、必要な支援策を検討していく。ウィズコロナの中でのイベント開催については、感染防止対策の徹底等、各実行委員会の中でしっかりと議論を重ね、一緒に考えていきたいと思っている。



みよし市民納涼花火まつり



質問1
下水道工事の設計基準の見直しを

平成15年に定められた設計基準による下水道工事小型マンホールが、20年を経た今も使用されている。他市町の現状も把握され見直すことで工事費削減へつながると考えるが、市としての見解を伺う。

答弁1
安全性、経済性を考慮した基準書の
見直しを行っていく

加藤水道局長
市が定めた設計基準に基づいて設計、工事を進めてきているが、約20年近く経過をしていることから、基準を見直していくことは当然必要であると考える。今後においては、他市の基準も調査研究しながら、安全性、経済性を考慮した基準書の見直しを行っていく。

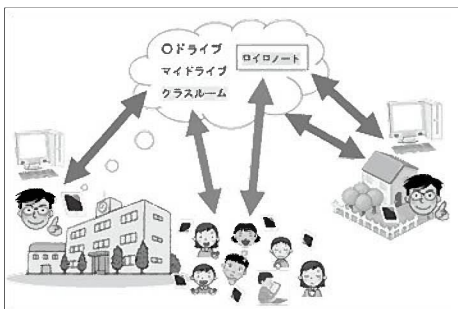
質問2
学校の働き方改革の推進を

19時を退庁時間にする指導により、学校での在校時間は減少している。しかし持ち帰りの仕事が増えたのでは改善は進まない。持ち帰りの仕事の現状を把握し

答弁2
具体的な取組を進める

追田教育長
本来、業務の持ち帰りは行わないことが原則であり、「三次市立小・中学校の勤務時間の上限に関する方針」に示しているように、上限の日安時間を守るためだけに自宅等に持ち帰って業務を行う時間が増加することは、本方針の趣旨に反すること、また、このことを教職員へ丁寧に周知するよう、継続的に校長会等で指導している。

教職員が自宅へ持ち帰っている業務については、各校長を通じて状況を把握している。これらの実態把握をさらに進めながら、勤務時間外の在校時間縮減とともに、子どもと向き合う時間の確保につなげる。



ICT活用イメージ図



質問1 薬用作物栽培の現状と今後の課題は

漢方薬の原料は使用量の8割を中国に依存し、国産は1割にとどまっている。ウクライナ危機など世界情勢では、薬用作物の調達に影響が出る恐れもある。薬用作物の振興に対して、追い風が吹いていると言えるが、現状と今後の課題を伺う。

答弁1 各関係機関の指導のもと、取組を進めていく

福岡市長
薬用作物の医療品メーカーとの取引においては、安定的な生産のもと、一定の品質や量を保つ必要がある。栽培知識や技術の習得を図ることが大切であり、本市に適した栽培暦やマニュアルの作成など、各関係機関の指導のもと、引き続き取組を進めていきたいと考える。

質問2 踏切における道路のバリアフリーを

国交省は、道路のバリアフリーに関する運用指針を改定し、視覚障害者が踏切の位置を把握できるように点字ブロックを整備することを道路管理者に求めるとしているが、本市の十日市中原踏切は通行者も多く安全に通行できるようにすきではないか。

答弁2 必要であると認められる箇所には設置を進めていく必要があると考える

秋山建設部長
中原踏切については、通行者や通行車両も多い踏切であり、踏切前後に点字ブロックの敷設がない。十日市南側の歩道が整備されていないこと、鉄道事業者との協議が必要なこと、現時点では設置できていないが、必要であると認められる箇所には設置を進めていく必要があると考える。



中原踏切（十日市南）



質問1 小・中学校での平和教育の取組は

ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、平和教育を考える活動や募金活動が広がっている。しかし、終戦77年が経過し、8月6日、9日、15日がどういう日なのか分からない若者も増え続けていることから、小・中学校での平和教育についての取組を伺う。

答弁1 地域や学校の実情に応じて平和教育を推進していく

迫田教育長
学校教育における平和教育は、教育の中立性を確保しつつ、児童生徒の発達段階に配慮をした上で、戦争や被爆の実相に触れる取組、国際貢献などの視点に立った取組など、地域や学校の実情に応じて、全ての小・中学校で推進している。

質問2 保育所の安全対策は

今年4月、広島市西区の市立保育園で、保育中の園児が行方不明になり、近くの河川で亡くなる痛ましい事故が発生した。この事故を受けて本市も保育所の施設点検を行ったが、保育所の安全対策ならびに保育中の安全対策を伺う。

答弁2 事故要因を取り除くよう取り組む

松長子育て支援部長
保育所での事故は、フェンスや設備、遊具などの物的・環境的要因であるハード面と、子どもの行動や保育士等の関わりなどの人的要因であるソフト面が合わさって発生すると考える。今後ハード・ソフト両面で事故要因を取り除くよう取り組んでいく。



園児の安全対策（応急措置）がとられた保育所

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



質問1 新学校給食調理場運営の準備状況は

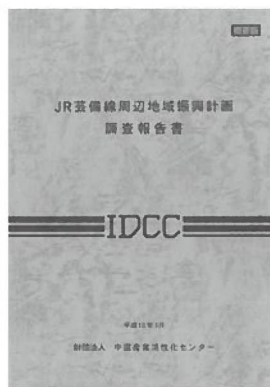
この機会に市内の学校給食費の会計を透明性、公平性、また学校の多忙化解消からも公会計導入に踏み切るべきではないか。地産地消の食材調達で地元生産者の募集状況はどうか。給食配送の準備状況は順調か。

答弁1 着実に準備を進めている

甲斐教育次長
公会計の導入は必要であると認識しているが、調整に一定程度の時間を要するため、来年9月の新調理場へ向けての導入は難しいと考えている。地産地消にかかる生産者の応募は、個人及びグループで6者あった。配送は車の管理も含めて委託を検討している。

質問2 JR芸備線三次ー広島間の高速化の考えは

平成12年JR芸備線周辺地域振興計画調査報告書が出され、三次ー広島間の高速化を図ることでの利用促進と沿線地域の振興方策が提起されている。このことを再検討すべきと考えるがどうか。



JR芸備線周辺地域振興計画調査報告書

答弁2 関係機関等と協議を進めていきたい

福岡市長
速達性による時間短縮の実現はハードルが高いと思うが、利便性の向上、三次市や周辺地域の活性化に向けた取組においては非常に重要だと理解している。引き続き関係機関、関係自治体と連携を深めながら芸備線対策協議会を中心として協議を進めていきたいと考える。



質問1 過疎地域の将来展望をどう考えるか

少子高齢化に伴う地域の人材不足や、生産年齢世代が働ける場所づくり、孤立集落が増える中での道路維持管理や交通体制の確保など、多くの課題が山積である。過疎地域の10年後を見据え、市長の考えを問う。

答弁1 継続的に取り組む

福岡市長
三次市の持つ豊かな地域資源や充実した子育て環境などの強みを生かしながら、今後もしっかりとシティブロモーションを行い、一定程度の人口減少が続く中においても持続可能な活力ある元気な地域づくりをめざす。そのため定住人口だけでなく、関係人口の創出を行いながら、関わっていく人を1人でも増やしていくよう、継続的に取り組む。

質問2 市民参加型のデジタル構想への考えは

過疎化が進み、周辺地域の住民は益々減少している。デジタル技術を活用した高齢者の見守りや遠隔医療の活用は魅力的な地域づくりと考えるが、過疎地域活性化に繋がる、市民と市が今以上に情報共有できる仕組みを作る構想はあるのか伺う。

答弁2 三次市官民共創DXコンソーシアムを立ち上げた

堀川副市長
行政からの情報発信、市民の皆さんとの情報共有をスムーズにして、まちづくりを活性化させるといった点についても、デジタル技術の貢献というのは非常に大きいのではないかと考えている。



三次市官民共創DXコンソーシアム設立記念講演

※コンソーシアム：組織や会社、個人やグループなどで構成する「共同事業体」のこと



黒木 靖治
公明党

質問1 通学路の安全対策は

通学路危険箇所の特検結果を受けて、安全対策未実施箇所の取組について、「三次市通学路交通安全プログラム」を策定された。広島県では、2026年度までに完了する考えであるが、三次市においてはいつまでに安全対策を完了されるのか。



きんざいスタジアム付近交差点（東酒屋）

答弁1 PDCAサイクルに基づいて対策を行っている

本市では、三次市通学路交通安全プログラムに基づいて、毎年度、通学路

秋山建設部長

点検を行って、PDCAサイクルに基づいて対策している。令和3年度に取りまとめた危険箇所改善要望箇所のうち、市が対策予定としている箇所については、国の道路交通安全対策補助制度を活用して2026年度までに完了させる予定としている。

質問2 男性トイレにサニタリーボックスの設置を

女性用トイレには、生理用品などを捨てる「サニタリーボックス」が設置されている。一方、男性用トイレには無いことが多く、前立腺がん等を患った男性が、尿漏れパッドを捨てる場所に困っておられる。「サニタリーボックス」を設置できないか。

答弁2 ニーズも踏まえながら設置に向けて前向きに検討していきたい

災害対応、あるいはトランスジェンダーへの配慮といった面からも、サニタリーボックスの設置というのは、今の社会では必要不可欠なものであると考えている。多目的トイレの活用等も含め、ニーズも踏まえながら設置に向けて前向きに検討していきたいと考えている。

※トランスジェンダー…このころの性からたの性が一致していない人

福岡市長



弓掛 げん元
ともえ

質問1 三次小学校の建替え計画は

三次小学校の老朽化に伴う建替え計画は、地元にとって朗報となっている。子どもたちのため、地元産の木材をふんだんに利用し、より良い校舎の建築が望まれる。

2年近い工事期間の授業中の騒音や、グラウンドの水捌けの悪さ、40年前の現校舎建設時における、南側移築計画への地元反対などが懸念されるが、その対策を伺う。



三次小学校校舎

質問1 甲斐教育次長



現敷地内での改築が検討されている

答弁1 しっかり考慮しながら進めていく

工事施工に当たっては、騒音を最小限にとどめるなど、グラウンドの水捌けや校舎を建てる場所についても、しっかり考慮しながら進めていきたい。また、木材を積極的に利用することで温かみを感じられる室内環境等に配慮することを業者選考の要件にも示しており、木材利用について協議を進めていく考えである。

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



宇賀の里（旧宇賀小学校）

質問1
小学校統合後の跡地利用は



跡地利用の地元協議は、地域振興やまちづくり、地域福祉の視点を持つべきと考える。教育委員会と市長部局が連携し、統合と同時進行で、その地域に適した今後のあり方を提案し、地域と一緒に進めていく必要があると考えるがいかがか。

答弁1
共通認識を持った上で協議をしていく

追田教育長
地域づくりの観点から、行政としてしっかり横の連携をし、その上で住民の皆さんや関係機関等と連携をしながら、施設のあり方に共通認識を持った上で、協議をしていく視点を持つことは非常に大切であり、必要であると考えている。

質問2
三次市の少子化対策は

子どもへの投資は、三次の未来への投資と考える。子育てしやすい、産みたい、育てたいと思ってもらえるように力を注ぐべきである。先進的な他市のように上手にしている子育て支援を真似てでも、思いきつた少子化対策をすべきと考えるがいかがか。

答弁2
希望を支える仕組みづくりに取り組む

松長子育て支援部長
本市においても、医療費助成制度や保育利用料軽減制度、また24時間365日の小児救急など子育てを支える環境づくりを進めている。他の自治体の取組についても情報収集しながら、結婚、出産、子育ての希望を支える仕組みづくりに取り組んでいく。

質問1
今後の水道料金上げをどう考えているか



本年10月及び来年10月使用分から、市内の家事用料金を各々約13%引上げ、全市内の料金統一が実現する。検討委員会が第二段階として指摘している「簡易水道への一般会計繰出し相当分」の利用者分担による引上げ等も含め、今後どのように考えていくか、市長の見解を伺う。

質問2
広域連合企業団への参画も含め前広な説明を

料金回収率を100%に引上げても、7年後には89.6%に低下する。更なる料金引上げは必至である。三次市単独での運営は極めて厳しい。広域連合企業団への参画も含め、前広に説明すべきである。見解を伺う。

答弁2
経営努力により給水原価を抑えていきたい

福岡市長
独立採算制というのが企業会計の基本であり、経営努力としては、広島県水道広域連合企業団に参画することで得られる交付金を活用しながら、水道施設の統廃合を行うことで、維持管理費経費を縮減し、給水原価を抑えていきたいと考える。

答弁1
丁寧な説明と情報提供を行う

福岡市長
水道事業は、人口減少に伴う給水収益の減少、老朽管の更新に伴う工事費用の増加、水道技術者の減少など課題は山積しているが、継続して安全・安心な水道水を提供するため、定期的な経営状況の検証を行っている。将来推計の結果、料金改定の必要が生じた場合には、議会、市民の皆さまに丁寧な説明と情報提供を行い、ご理解をいただきながら進めていきたいと考える。



三次市水道局



がん検診当日の様子

がん検診は市民の健康づくりに役立つ事業であると思うが、受診者と未受診者の状況を把握しているのか。特に未受診者への受診勧奨は重要だと思う。未受診者への受診勧奨を含めて、受診率向上のために、どのように取り組んできたのかを伺う。

質問1
がん検診の受診率向上を



かけだかつひこ
掛田勝彦

明日への風



答弁2
本市がめざしている地域包括ケアシステムは、高齢者の方が介護や療養が必要になったとしても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に確保され、地域のみんなで幸せのために支え合う仕組みを作り上げていくものだと考える。

答弁2
支え合う仕組みを作り上げていく

福岡市長

質問2
めざす地域包括ケアシステムとは

国においては、2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進している。本市のめざす地域包括ケアシステムとはどのようなものか。本市の考えを伺う。

質問2
めざす地域包括ケアシステムとは

答弁1
多様なニーズに合わせた受診機会を整えている

立花福祉保健部長

総合集団健診では、特定健康診査との同時受診や休日健診、女性限定の健診日を設ける等、多様なニーズに合わせた受診機会を整えるとともに、未受診者への個別受診再勧奨、広島県や三次地区医師会等との連携などによって受診率向上の取組を行っている。

答弁1
多様なニーズに合わせた受診機会を整えている

答弁1
受け入れ環境や体制が整っていない

中廣産業振興部長

林業技術習得のための研修受け入れ先の確保をはじめ、研修終了後の受け入れ先、また、林業で自立するための施業地の確保など、一連の受け入れ環境や体制等が整っていないという現状にある。そのため、本市においては、現在のあるところ林業分野での地域おこし協力隊の活用は考えていない。

答弁1
受け入れ環境や体制が整っていない

質問1
森林管理の多様性に向けて自伐型林業の推進は

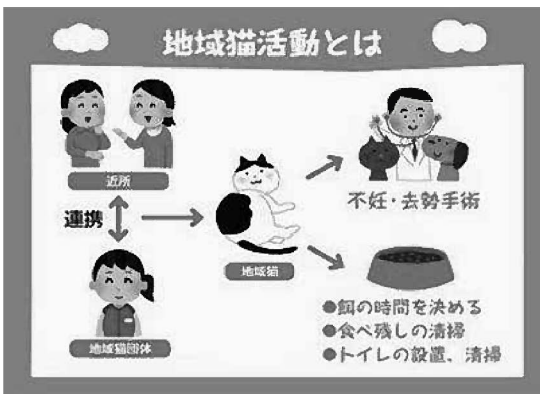
現在、持続可能な森林管理の方法として自伐型林業が注目されている。豪雨災害や生物多様性、移住定住などの対策としても可能性が大きい中で、まずは地域おこし協力隊の制度などを活用し育成に取り組み予定はないのか。

質問1
森林管理の多様性に向けて自伐型林業の推進は



とくおかまき
徳岡真紀

明日への風

地域猫活動のしくみ

答弁2
SNS等で啓発を行っていく

矢野市民部長

SNS等を活用して、ペットを飼う場合は健康管理や清掃、しつけなど、最後まで責任を持って飼うことが基本であるといったことに加え、野良猫や野良犬に無責任に餌を与えないなど、市民一人一人の心がけについて、啓発を行っていききたい。

答弁2
SNS等で啓発を行っていく

質問2
地域猫制度の活用推進とペットとの共生の取組は

市内各地で野良猫や多頭飼育などの問題を聞くが、本市としてどのように取り組んでいく予定なのか伺う。

質問2
地域猫制度の活用推進とペットとの共生の取組は

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。



部活動の様子

部活動の地域移行について、指導者の確保が課題として考えられる。部活動の地域移行の完了時期である令和7年度末までの計画を立て、実施していくものと思われるが、本市における部活動の地域移行のスケジュールを伺う。

質問1 中学部活動の地域移行のスケジュールは



ふじ 藤岡 一弘
明日への風

答弁1 検討委員会で協議をしていく

追田教育長
令和3年度に三次市地域部活動検討委員会を設置し、今年度は、4回の開催を予定している。その中で、来年度以降の具体的な計画や、また、その基本方針のあり方について提言をいただき、それを基に取組を進めていきたいと考えている。

質問2 本市への学生の就職をより推進させる取組は何か

学生などの若者に市内企業へ就労してもらうことは、人口減少対策としても有効である。学生へのアプローチとして、より本市への就職の関心を高めるために、これから取り組む予定の事業があるのか。

答弁2 企業ガイドブックのデジタル化を計画している

中廣産業振興部長
今年度、企業ガイドブックのデジタル化を計画している。それにより遠方の学生であっても、市内の企業情報を入力しやすい環境を整備することができると考える。また、デジタル化について、SNS等で周知を行い、本市への大学生等の就職活動支援につなげていきたいと考える。

議会のうごき

2022(令和4)年8月1日~10月31日

- 8月**
 - 1日 教育民生常任委員会
 - 2日 議会運営委員会
 - 5日 令和4年第2回臨時会、全員協議会、産業建設常任委員会
 - 7日 三次子ども議会
 - 10日 議会運営委員会、総務常任委員会
 - 23日 議会運営委員会、全員協議会
 - 24日 市議会トピックス出演(広報広聴常任委員会)
 - 26日 議会運営委員会
 - 30日 三次市議会議員研修会
- 9月**
 - 1日 議会運営協議会
 - 2日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
 - 5日~7日 9月定例会本会議(一般質問等)
 - 6日 議会運営委員会
 - 8日 産業建設常任委員会、総務常任委員会
 - 9日 総務常任委員会
 - 12日 教育民生常任委員会
 - 13日~16日 予算決算常任委員会
 - 14日 全員協議会
 - 20日~22日 予算決算常任委員会
 - 21日 議会運営委員会
 - 26日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
 - 28日 議会運営委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
市議会トピックス出演(教育民生常任委員会)
 - 30日 議会運営委員会
- 10月**
 - 3日 教育民生常任委員会
 - 5日 広報広聴常任委員会、市立三次中央病院建替等調査特別委員会
 - 14日 広報広聴常任委員会
 - 17日 教育民生常任委員会
 - 20日 広報広聴常任委員会
 - 21日 議会運営委員会
 - 24日 議会運営委員会、全員協議会
 - 26日 市議会トピックス(産業建設常任委員会)
 - 27日 令和4年第3回臨時会、会派代表者会議

行政視察受入状況 8月10日 兵庫県赤穂市議会 議会運営委員会(議員定数について)

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

- 1 令和4年9月定例会の総括
- 2 議会報告・懇談会の開催について
- 3 アトランタ訪問について





きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は **12月2日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、11月18日(金)正午まで

陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

第9回

傍聴者に聞いた！
「傍聴ってこうだったのか!!」

9月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。
なぜ傍聴したの？どうだった？？これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか？

傍聴のきっかけは何ですか？

市役所へ職場体験に来ていたので、傍聴しました。

傍聴の感想を教えてください！

三次市をより良くしていくために、たくさんの議員さんがよく考えていて、すごいなと思いました。

中学生の私たちに関係あることを聞くことができ、とても勉強になりました。

議会を実際に傍聴して政治に興味を持ちました。18歳になったら投票に行きたいです。

今回は職場体験に来ていた中学生にインタビューをさせてもらいました。

「議会だより」への掲載を快諾していただき、ありがとうございました。

三次市議会では、定期的な換気をおこなうなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス

gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

今年も残りわずかとなりました。残念ながら今年もコロナウイルスに様々な影響を受けた一年となってしまいました。9月定例会、臨時会においてもコロナウイルス対策に関連した予算が多く上程され、さらに、決算審査においてもコロナウイルス関連の審査が多く見られました。人と人とのつながりの希薄化、地域行事の相次ぐ中止、地域経済の停滞等、厳しい状況が続く中で、三次のような人口5万人弱の中山間地域でも、食料や農業資材、エネルギー等、グローバル化した暮らしは世界情勢に大きく翻弄されています。

三次には市民が自慢できる自然資源が豊富にあります。循環型の社会が求められる中で、三次は食料も農業資材もエネルギーも自給できる基盤が十分にあることをもう一度見直す必要があるのではないのでしょうか。

(徳岡真紀)



「大土山の神代亀」

神代の昔、神代亀付近に「市杵姫（いちきひめ）」「市杵島姫（いちきしまひめ）」と様々な呼び名で伝えられた女神が住んでいました。その女神がひょうたんて造った船に乗って宮島に移り、祭神とられました。神秘的な神代亀を見ると、そんな神話が身近に感じられます。亀のように見え、亀の頭を触ると幸せや長寿になれるというパワースポット近くには、念仏岩、くさび岩、こぐり岩、岩海等点在しています。11月には三和小学校5年生の皆さんが自然体験学習として登山や山林整備が予定されています。大土山山頂からの眺望は美しいですよ。

(重信好範)

